

ガバナー 月信 GOVERNOR'S MONTHLY REPORT

Rotary International District 2630 2019-2020



June 2020
Vol.12

6

CONTENTS

- 2019-20年度 ガバナー 辻 正敏 メッセージ
一年を振り返って P2
- 次年度に向けて
ガバナーエレクト 鈿田 廣喜 P3
- 2019-20年度 クラブ会長挨拶 P4~16

- 活動事業報告 P16
R財団奨学生面接
会長エレクト研修セミナー (PETS)、
地区研修・協議会の中止について
- 環境関連アンケート実施結果の報告 P17
- 4月度会員数報告 P18
- 会員動静報告 P19
- フェイスシールドの贈呈式・各事務所の案内 P20

国際ロータリー 第2630地区
2019-2020年度
ガバナー 辻 正敏

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





一年を振り返って

2019-2020年度 国際ロータリー 第2630地区 ガバナー

辻 正敏

早いものでもう6月です。昨年1月、サンディエゴでの国際協議会で国際ロータリーのテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」(ROTARY CONNECTS THE WORLD)をいただき帰国。地区チームと呼ばれている私のサポーターの皆さんに国際ロータリーのマーク・ダニエル・マローニー会長のテーマとその主旨を伝え、会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会を済ませて準備万端、「さあ、いくぞ」。

迎えた2019年7月1日、東京でのガバナー会で一言の自己紹介は「やっと来たこの日。早く過ぎ去れ、この一年。地区のテーマは総天然色」だったと記憶しています。そして7月18日の郡上八幡と郡上長良川の両クラブが合同で開催された公式訪問は、それぞれのクラブの皆様の温かい心遣いで、楽しく快適に一つ一つを過ごさせていただきました。最後はガバナーエレクトの剣田さんがいらっしゃる高山の3ロータリー合同例会への公式訪問で締めいただきました。この間、きっと我儘な私のことですから、多くの方にご迷惑をかけたのではないかと振り返ってみたりしております。もし、そうだったらゴメンなさい。12のグループで開催いただきましたインターシティ・ミーティングもそれぞれのグループでしっかり考えられ、中身のあるものとなりました。公式訪問が終わるといよいよ地区大会です。地元津市がスポーツ振興を掲げて建てられた津市産業スポーツセンター、通称「サオリーナ」と見本市会場として使用される「メッセウイングみえ」に1,700名を超える登録をいただき二日間開催できました。一日目は、ちょうど改元の年に当たり5月からは元号が「令和」となり、皇室関係や元号に詳しい京都産業大学名誉教授の所功氏に「令和改元の画期的な意義」と題して、二日目は、ガバナーが50年を超えて恋に落ちている倍賞千恵子さんによる「歌うこと、演じること、そして生きること」と題された講演でした。またこの年に満百歳のお誕生日を迎えられた現役会員の郡上八幡ロータリークラブの大畑会員に誕生祝をお渡しし、大畑氏よりご自分の体験から迫力に満ちた、平和への思いをお話いただき、多くの会員が感激されたことでした。その他一日目、二日目の終了後、食事会を初めて行いました。これも画期的なことでした。地区大会が終わるともう年末です。

年が明けると剣田ガバナーエレクトが、米国サンディエ

ゴでの国際協議会に出発され、帰国されると次期が本格的な準備に取り掛かる時期です。ところがこの頃から世界中を脅かしています新型コロナウイルス“COVID-19”が牙をむき始めます。2月になると世の中が騒ぎ始めました。何とかぎりぎりロータリー財団学友会のポリオ根絶チャリティコンサートが開催できました。その後、その猛威はますます強まり、3月30日には4～5月の地区の予定はすべて中止とするお知らせを出すことになってしまいました。地区内クラブもこの時点で5月まで例会休止がほとんどとなり、各クラブ内会員のコミュニケーションが上手くとられているかどうか心配な状況でした。4月には日本政府から緊急事態宣言が出され、「自粛」の言葉が日本中を覆いました。辛い毎日でした。剣田ガバナーエレクトにとってはとても大切な会長エレクト研修セミナー、地区研修・協議会をはじめ、あらゆる予定を会員に集まっていたで行うことをすべて取りやめました。そして今までとは異なる方法はないかと皆が模索しました。私もYouTubeで皆さんに呼び掛け、Skype、Zoomで奨学生候補の面接などを行いました。便利なものだと思いますが、やはり顔を合わせて表情を見ながら、言葉を交わすことにはかたがた。とうとう本年度と次年度との引継ぎ会もなくなりました。

お隣の愛知県、第2760地区の方が医療現場で大変不足している、患者からの飛沫から医療従事者を守るフェイスシールドを製作されることになり、当地区もロータリー財団と地区内ロータリアンからの募金で岐阜県に2万、三重県に2万の計4万セットを寄贈することが出来ました。何も出来ず、ただ自粛の毎日だった私たちには大変嬉しいことだったと思っております。

本当に何も出来ないで、焦りと悔しさと不安が支配した2019-2020年度後半でした。このような経験は誰も二度としたくありません。低く垂れ込めたCOVID-19という暗雲が今月末には晴れ上がり、明るい希望に満ちた2020-2021年度がやってくるように祈ります。

お願いです。コロナさんには私たちの引継ぎ会を差し上げますので、もっと良いことをするウイルスにバトンタッチしてください。



次年度に向けて

2019-2020年度 国際ロータリー 第2630地区 ガバナーエレクト

劔田 廣喜

今般の新型コロナウイルス(COVID-19)の感染症の予防および拡大防止の為、PETS・地区研修協議会が中止となり、次年度のクラブ公式訪問、GTM、地区大会、青少年交換事業、地区補助金事業、グローバル補助金事業など本当にできるのかどうか地区運営に多大な影響を与えております。

このような状況下ではガバナーエレクトの抱負を語ることは到底できません。新型コロナウイルス(COVID-19)の終息をただ祈るばかりであります。

現代社会は新型コロナウイルス(COVID-19)という新たなグローバル課題に直面しています。グローバル化社会は、ヒト、モノ、カネ、情報の国際移動を加速化し、多くの利便性と恩恵を我々にもたらした一方、こういった感染症やテロが世界的に拡散するというリスクを高めてしまいました。

人間は「目に見えない脅威」に弱いものです。それは、私たちが目に見える世界、形ある世界、いわゆる物質的世界に身を置いているからです。「目に見える世界」とは全てカネに還元される社会です。物質社会で暮らしているうちは翻弄されるばかりで安寧はありません。私たちは、変化する

時代(物質的世界)の波には乗らず、変わらない真理のなかで暮らしていかなければ、穏やかな世界で暮らしていく事はできません。

こういう時こそ物事の本質、真理を求め自分で目に見えない物の価値と有難みに気が付けると、「辛く苦しい人生」から少しは解放されるようになるのではないのでしょうか？

近年ロータリーもグローバル化して規制緩和が進み変貌して来ました。グローバル化によってロータリーの組織原理は衰退し「一業種一人の原則」や「例会重視の原則」などが変更され、実践原理を優先した「世界的人道奉仕」に重点が置かれるようになりました。しかし、日本のロータリーはこれからも「目に見えるもの」「形あるもの」を支えているのは目に見えない世界であることを忘れず、ロータリーの本質である理念や目的の心を大切にしていかなければならないと思います。

先輩ロータリアンが築き上げてこられた日本のロータリーが継承する伝統文化「例会出席・職業奉仕」を堅持し、理論と実践の調和により地域社会から必要とされるロータリーにならなければならないと思います。



2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年を振り返って

岐阜ロータリークラブ
会長 佐々木 淳

ポールハリス氏の創立時の思い「生涯にわたる友情を培う場」というRCの原点を大切にクラブ運営を今年度の方針とし、会員相互の友情を育み、様々な情報交換ができる毎週の例会や夫婦同伴の親睦行事等に重点を置いた活動を行いました。

また、信長祭りでの岐阜Aグループ合同のポリオ募金など、他クラブとのつながりも大切にしました。

ただ、心残りは、年度後半のコロナ禍による例会や行事等の中止です。現時点では先行きがまだ見えませんが、準備万全ながらやむなく中止となった家族旅行等の行事を次年度に受け継いでもらえるとありがたいと思っています。

改めて、一年間支えていただきました副会長、幹事、役員の皆様方には心より感謝申し上げます。



一年間のロータリー活動を振り返って

岐阜西ロータリークラブ
会長 石田 準一

2019-2020年度、第60代岐阜西ロータリークラブの会長を務めさせていただきました。今年度の会長方針と致しまして、「協調。団結。そして前進。」をスローガンとしてスタートいたしました。思い起こせば、横山幹事と2年ほど前から準備を始めたことが懐かし思い出されます。色々な奉仕活動や楽しい行事や例会でのあり方の話し合い等をいたしました。

2021年5月に創立60周年を節目に控え全会員が記念事業に向けて役割分担、計画立案を決め、力を合わせ進んでいる最中、世界中に広がりました「新型コロナウイルス」は日本中にも大変な混乱を招いています。私共ロータリークラブ活動も一時停止状態に陥り大変に苦慮いたしました。2020年の新年を迎え楽しみにしておりました遠征親睦例会が中止となり、他行事も縮小せざるを得ない状況に陥り残念な日々を送りました。

来季60周年記念事業を迎えるに当たり、会員の皆さんの御協力により会員増強4名の新会員となりました。お世話になりました理事、各委員長、メンバーに感謝いたします。



一年間を振り返って

岐阜長良川ロータリークラブ
会長 市原 登志徳

新しい元号「令和元年」の年、伝統ある岐阜長良川ロータリークラブ第55期という節目の年に会長を務めさせていただきました。2019-2020年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」で、2630地区のテーマは「総天然色」というテーマのもとに新しい年度が始まりました。

本年度の対外事業としては、新竹RCの創立65周年記念式典参加(12月実施)と石巻RCとの交流(友好提携として節目の5年目。3月実施)いずれも会員の皆様のご協力のもと無事終えることが出来感謝しております。

対内的には、とにかく楽しい例会という思いで、夜間例会を6回計画し、又、職場例会を御園座にて歌舞伎を観に行くことが出来ました。今までにはない斬新な計画でしたが、会員の皆様にも多数ご参加して頂き本当にありがとうございました。ただ残念なこととしては、会員増強の件です。今期55周年ということで55名に増強したいと旗を上げましたが結果的には、2名入会1名退会で純増1名のトータル会員50名で落ち着きました。時間と根気のいる作業かと思いますが、これ以上減少しないように頑張らなければいけないと痛感致しました。

今期一番悔やまれることがありました。新型コロナウイルスが今年1月頃より騒ぎはじめ、全国に緊急事態宣言が発動され、又、岐阜県が特定警戒都道府県となり、ロータリーの根源である毎週の例会が3月3回、4月3回、5月2回休会になり、この先どのようにしていくのかよくわからない状況が続いています。従って、下半期の活動がほとんどできなかったことが非常に悔やまれました。

しかし、この状況の中、理事・役員の方はじめ、会員の皆様のご支援ご協力を賜り、大変微力な会長でしたが貴重な体験をさせていただいたことを心から感謝いたします。1年間大変ありがとうございました。



一年を振り返って

岐阜北ロータリークラブ
会長 西垣 康紀

会長就任にあたり、活力あるクラブを目指して会員数を40名以上にするに及び新旧会員の融和を図ることを目標に掲げ取り組んでまいりました。期首早々には目標とする会員数に達し喜んでいたのも束の間、秋には台風19号の影響で恒例の水見ロータークラブとの合同例会が中止となり、さらには年が明けてからは新型コロナウイルスが蔓延し非常事態宣言が出されたことから、3月半ばから例会を休会せざるを得なくなりました。予定されていた活動の約3割が出来なくなってしまう状況となったわけで、いくら外的要因によるものとはいえ、やり残したことが多く悔いが残ります。

この新型コロナウイルスは社会経済活動に多大な影響を及ぼしており、会員の事業所でも収入減、さらには廃業といったことも想定され、会員の退会につながりかねません。一刻も早く新型コロナウイルスの影響が無くなり、元の状態に戻ることを切に願うばかりです。

厳しい状況にあっても活躍していただいた会員や支えていただいた岡田幹事には感謝申し上げます。



一年を振り返って

岐阜中ロータリークラブ
会長 大橋 哲也

1年を振り返り感想をのべてさせていただきます。まずは、コロナウィルスの対応による3月からの例会の相続く休会に伴い毎年行われていた親睦例会、ポリオチャリティサッカー大会の中止等後半は、例会が恋しい毎日が続きましたが、安澤幹事のお骨折りで造った岐阜中クラブ31人全員が参加のlineのおかげで、フイリピンバオからの早朝line例会が実況中継で行う事ができたことや、休会中もlineのやり取りでクラブの皆様の絆が保たれていることが、一番の岐阜中クラブとしての良い感想です。

また毎週火曜日都ホテルで同時に開催されているが、互い余り挨拶もしたことのない岐阜東ロータリークラブとの関係でしたが、豊田東ロータリー会長と協議を重ね合同例会を柴橋岐阜市長をお招きし開催することが出来ました。このことにより今まで岐阜Bグループの岐阜東ロータリークラブとの交流は、薄かったが、この例会を通じて深められる事ができたことが印象に残っております。

今後の例会のめどが、中々立たない模様ですが、ZOOMなどを使った例会、飲み会も今期中に実施出来ればと思っています。

何はともあれ一年間会員の皆様のご協力での良い経験ができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



一年を振り返って

岐阜南ロータリークラブ
会長 水野 辰博

Challenge Rotary・Rotary Together「やってみようロータリー、共にロータリー」をテーマに会長賞を目指しました。

でもどうしたら会長賞をとれるのか解らない。マイロータリーの登録者は数名、ロータリーセントラルの入力方法が解らない、要するに電子化に対応できていない。素晴らしい活動をしなくても入力しなければ会長賞は取れないのです。仕組みさえ解れば出来る会員はたくさんいました。

課題1／増強拡大が絶対条件、14名が入会。

課題2／地域社会をつなぐ、フェイスブックで試行開始。

課題3／家族をつなぐ。

5月開催予定のホテル祭りはコロナ肺炎の影響で中止になりました。そうですが、この一年、会員の皆様の活躍に感謝。



一年を振り返って

岐阜東ロータリークラブ
会長 **豊田 雅孝**

『記憶に残るロータリー』このテーマのもと、創立50周年記念事業を無事に終え、全会員が協力しあって記憶に残るロータリーになりました。

例会時間を有効に使うよう会員のハッピートークでは喜びを共有しました。

会員のアイデアをだし合っの例会プログラムで、パスト会長の声、チャーターメンバーの声、研修例会、会員企業PR例会、オレンジリボン運動、岐阜中RC合同例会、岐阜城RC合同例会等々、多くの企画を実行してきました。

3月からは新型コロナウイルス感染症の影響で例会の休会が多く、5月に予定の訪米してのセリトスアータシアRCとの合同例会も中止になり残念でしたが今年度5名の新会員を両手を広げて受入できた事を喜び、第51代会長を支えて頂きました岐阜東RCの皆様感謝致します。



一年間を振り返って

岐阜エトスロータリークラブ
会長 **水野 雄二**

当クラブからガバナー補佐を出し、ガバナー公式訪問、IMと、「楽しくやらない」との辻ガバナーのお声に励まされ、難しいことを考えずに前半を終えました。

IMの締めくくりの時、「手に手つないで」のあとに「下町の太陽」を全員合唱したのは楽しかったです。防犯カメラの設置という補助金事業もできましたし、素敵な週報も発行できるようになりました。会員も増えたかな。

後半は、新型コロナウイルスが発生しましたが、「例会は重要な情報交換の場」と、出席を義務付けず、例会を開催していましたが、さすがに会員の生命を左右する話になってくると休会もやむなしと判断しました。会務らしい会務とならず、一年を締めくくりそうです。



一年を振り返って

岐阜東南ロータリークラブ
会長 **美濃輪 秀人**

今期一年を振り返り、大変な年の会長を任せていただいたと痛感しております。今期最大のイベントは、「創立45周年記念事業」でした。記念事業として、地域自治体へ健康ベンチの寄付を行い、記念式典では地元出身であるMr.マリク氏によるマジックショーと基調講演を企画し、大盛況のうちに終えることができました。

また、「45周年に45人の会員数を達成しよう」をスローガンに、会員増強活動を強化し新入会員も徐々に入会し、あと少しで目標が達成できると思った矢先、コロナウイルスが暴れ出し当クラブも3月より止む無く休会となってしまいました。

ロータリーの活動が、皆で顔を合わせできる日を心より待ち望んでいます。



一年を振り返って

岐阜城ロータリークラブ
会長 **甲斐 茂樹**

今期会長として、会員増強といま取り組んでいる事業をより良い奉仕活動にするためにクラブが成長する事に力を入れてきました。

本来この時期、来期行う環境問題をテーマにしたR財団地区補助金事業を会長エレクトと連携し、次期につなぐ取り組みをしているはずでした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため国際大会をはじめ地区の行事やクラブ例会まで自粛となりました。本当なら東京2020を目前に活気のある日本であったはずが残念でなりません。

その一方、小回りの利くクラブの特徴を活かしWebを取り入れた理事役員会を行うなど、この先の例会の在り方も変えるような新しい取り組みが出来た一年になったのではないかと思います。

皆様一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

岐阜加納ロータリークラブ
会長 **沢田 誠**

会長基本方針「新旧融合」を掲げ以下の活動を実施しました。
①新旧会員をつなぐでは、新会員研修セミナーを実施クラブの結束を高めました。②新世代や地域をつなぐでは、岐阜天文台天文教室開催や岐阜jrゴルフトーナメント開催(中止)、日本児童育成園での2回のケーキ作り。2度目はケーキを施設へ届ける内容に変更した。③世界をつなぐでは、岐阜市で初めてのグローバル補助金事業に挑戦。タイのRCとマッチングしてタイクラブ病院に「生命維持と気道確保」と題して初期救急医療装置を寄付。現地へ10名訪問直前COVID19の影響で写真のやり取りとなり残念でした。又、交換学生事業でフランスへの派遣と受け入れ実施、どちらの彼女たちも最後まで留まる選択をしました。

COVID19の影響で残念なところもありますが上記の事業を会員の皆様のご協力によりなし得ることが出来たこと厚く感謝いたします。



一年を振り返って

大垣ロータリークラブ
会長 **児玉 榮一**

大垣ロータリークラブ69年の伝統を育みつつ、新元号「令和」の意味する文化の創造を織り込んだ諸活動を行いました。箏の演奏、ハンドパンとバイオリンの協奏、弦楽四重奏、日舞などを地域で活躍されている人たちに披露していただき、会員の皆様に「プラスS(満足)」を感じていただけたと推察いたしております。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、あたり前の日常、あたり前のロータリー活動が失われ、いつもと違う日常を体験してきました。われわれは「今だからこそ気づけること、伝えたいこと、そしてやるべきこと」を考え行動することで、AC(after Coronavirus)時代のロータリー活動につなげていくことができると確信しています。

2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年間を振り返って

大垣西ロータリークラブ
会長 **金森 武**

当クラブは、新型コロナウイルス感染防止のため3月17日に行った例会を最後に5月末日まで中止としています。6月以降につきましては未定ですが、厳しい状況は続いております。2月までは順調に事業を積み重ねてきましたが、残念ながら多くの事業が中止となりました。

特に重点課題としておりました会員増強につきましては成果を得られず会員数の減少で次年度にバトンを渡すことになり、申し訳なく思っております。新型コロナウイルス感染症が世界中で広がるなか、皮肉にも世界はつながっていることを再認識いたしました。

一日も早く平穏が戻ることをお祈りすると共に一年間支えてくださった会員の皆様に感謝申し上げます。



一年を振り返って

不破ロータリークラブ
会長 **岩田 勝司**

今期は補助金事業を行う関係で、すでに実行委員会を2018年9月には開催しておりました。本年3月以降例会をことごとく中止として、気分は尻切れトンボです。

ただ、おかげ様で、財団の補助金を得て、その事業、「なつぞらに響け」をテーマに郡内3中学校ブラスバンド部へのバンドクリニック提供及び合同演奏会を2019年7月に行うことが出来ましたし、恒例の中学生の英語によるわが町自慢コンテストも8月に済ませましたので、半分満足です。

ただ当クラブの創立50周年記念式典をコロナウイルスにより、やむを得ず泣く泣く中止したことだけが心残りとなりました。



一年を振り返って

本巣ロータリークラブ
会長 **吉田 幸司**

今期のクラブ会長テーマを「ロータリーは絆」としました。クラブ活動の中で親睦活動を重点に取り組むことにより会員相互の絆を深め、会員増強を図り活発な奉仕活動に繋げたいとの想いで今期はスタート致しました。

家族旅行例会・忘年家族例会では会員家族との絆を深め、早朝清掃例会ではボイスカウトとの絆を深め、2RC合同例会・3RC合同例会では他クラブとの絆を深めることが出来ました。

3月以降においては、新型コロナウイルスにより台湾姉妹クラブとの交流会・文化財保護の真桑文楽例会・能郷白山能狂言例会やホーム例会が休会となり、今までに経験のない一年間でした。6月末にはどのような状況になっているか分かりませんが、会員の皆様一年間有難うございました。



一年を振り返って

大垣中ロータリークラブ
会長 **安田 智和**

一年前、第2630地区・辻ガバナー御膝元(津)グリーンホテルで(PETS)を緊張の中、過した時が昨日の事のように。RI「ロータリーは世界をつなぐ」地区「総天然色」共々、オルガナイザーした。「中クラブの良き伝統」を継承し変革・柔軟性をもって気負いなく活動してきたと思います。

地区会員増強でプレゼン、地区大会で地区表彰を受け無事半期が過ぎ順風満帆航行して帰港する予定でした。

しかし、2月後半から目に見えない「COVID-19」という大嵐が航行不能状態に陥れ、2月28日の例会から3・4月すべて休会となった。それ以後、例会再開の見通しは未定である。今(4/10)、その嵐のピークも収束時期も未定の中、任期が終了しようとしている。



一年を振り返って

羽島ロータリークラブ
会長 **松田 和彦**

52期目の羽島RC会長の大役を賜り、「言える環境作りを推進し、積極的に地域社会とつながろう」をテーマに掲げ緊張感を以って取り組ませて頂きました。

幹事や会員の皆様のご協力の下、財団の資金も活用させて頂き、当初思いのほか順調に進んでおりましたが、このコロナウイルス問題で活動が急にスローダウンしてしまいました。状況によっては、予定が消化できないかもしれませんが、私はこの様々な経験を通じ、我がクラブの若手の方々には「是非、会長をやってみて下さい。きっと素晴らしい経験ができます。」とお伝えしたいです。

この一年間、会員の皆様には未熟な私を支えて頂き本当に感謝しております。有難うございました。



一年を振り返って

大垣センチュリーロータリークラブ
会長 **古澤 達行**

はじめに、一年間会長職を終えることが出来たのは、金森幹事の支えと会員各位の協力のおかげだと、大変感謝しております。又今期当初より掲げました、30周年60名が達成できたのも皆の努力のおかげだと感謝申し上げます。

会長挨拶では、出張先や旅先での、社会情勢(ソウル・タイ・ベトナム等)の報告や、日本を含め各地のグルメの紹介が数多くできて、会員の皆様には、喜んでいただけたと思っています。30周年と重ねて季節の宴会を、OBを招いたり開催場所や料理にこだわったり、楽しんでいただけたと思っています。後半は、新型コロナウイルスの流行で、クラブのメイン事業の中止や、観桜例会の中止など、多くの例会が開催出来ない年になってしまいました。担当していた委員長には大変ご迷惑をかけたと思っています。

私としてはとても有意義で、いろんな意味で数多く勉強ができた年でした。今後はクラブの事業に積極的に協力し、クラブの発展に寄与したいと思っています。一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

岐阜淡墨ロータリークラブ
会長 **野村 信行**

今年度、岐阜淡墨ロータリークラブは創立28年を迎えました。喜ばしく、又、重責の有るガバナー補佐輩出クラブとして少人数クラブですが、IM・ガバナー公式訪問9RC合同例会を、辻正敏ガバナー、岐阜西濃グループの皆様のご協力、ご支援をいただき成功裏に終えることが出来ました。ここに改めて皆様にお礼申し上げます。

辻ガバナーの今年度テーマは「総天然色」と唱えられました。私はこの四文字の中の(燃)しっかりと思いを込めて(色)それぞれの色を醸し出す!この部分を、岐阜西濃グループ9RC各クラブがIMで今年度再重点目標を報告されました通りに活動されたと思います。

私共岐阜淡墨RCは国際奉仕として、グローバル補助金でのネパール農業支援を計画し、双子クラブの台湾「彰化東南扶輪社」と、ネパール「ラリットプルRC」との3RCが協働し世界財団への申請作業に費やした一年でした。(申請作業は世界相手ですので未だ作業中ですが)次年度は実現に向かい進めております。

又、特筆すべきは新会員3名の入会です。新しい会員が入れるということはマンネリ化しつつある活動に新鮮な考え方、又、活動の取り組み方に変化があったことです。コロナウイルスによる世界危機で、今、岐阜淡墨RCに出来ることは何だろう!で淡墨RC会員全員からのポケットマネー浄財で、テトリ内一の市障がい者就労支援センターや、岐阜市内の市指定障害福祉サービス事業所の皆さんが作ってくれたマスクを買い上げ、それをテトリ内の老人福祉施設13カ所に寄贈できたことです。NHK TV、各新聞社がニュースとして取り上げてくれて「三方よし」の成果が得られたことです。

しかし、残念な事はコロナの影響で大半のクラブが4月以降例会が全体会となり、第2630地区の大きな各協議会も中止となったことです。しかしこの中でも辻ガバナーの声掛けによりフェイスシールド4万個寄贈提案がなされたことです。ロータリアンとして今、出来ることは何か!で第2630地区全員の支援で成功することを(4月24日現在ですが)祈念して結びさせていただきます。



一年を振り返って

中津川ロータリークラブ
会長 **吉川 義康**

クラブテーマ「広げよう奉仕の輪、輝こうロータリアン」を掲げ、中津川市の全ての子供達が健やかに、伸びやかに成長できる環境をつくり、幼児から児童期の子供の夢を育む目的で、元日本代表選手と元なでしこ選手を招き、2日間に渡りトークショーと少年サッカー教室を開きました。両日共約200名の子供達が集まり「夢」「仲間の大切さ」を学びました。

昨年10月に国際姉妹クラブの台湾・三重扶輪社への公式訪問を行い、親睦ゴルフコンペ等により一層両クラブの親睦を深めました。また、三重扶輪社のグローバル補助金プロジェクトの援助国として5千ドルを寄付しました。

今年に入ると新型コロナウイルスの影響により、春の家族例会を始め各事業等が中止又は延期になり、この先とても心配しています。青山ガバナー補佐を始め、皆様方に大変お世話になりましたこと心より御礼申し上げます。



一年を振り返って

岐阜サンリバーロータリークラブ
会長 **後藤 博美**

奉仕の理念をみつめ共に行動する、のテーマで19~20年度の例会をスタートしてからやがて1年、それぞれの委員会行事10月には海外姉妹クラブ台北城中RCとの合同例会西尾市の抹茶工場見学、有松絞体験、名古屋での合同例会、懇親友情の輪を広め5月台湾での周年事業、再開を。11月には国内姉妹クラブ鹿児島東RCとの姉妹盟約調印から23年を記念してテトリ内の海津市平田公園に令和元年を記念して記念碑と枝垂桜植樹除幕式を行い、場所を鳥羽のリゾートホテルに変えて合同例会翌日は新嘗祭の最中伊勢神宮外宮、内宮の参拝思いに残る合同例会となりました。

上半期の行事も順調に行き年が明け2月には、19年前から奨学金支給活動を行っているベトナムホーチミン視察を8年ぶりに実施支給先の農村部、山間部の学校視察でしたが「新型コロナウイルス感染」回避のため幼稚園から大学まですべて休校他の専門学校教師との懇談会、RC国際親善奨学生1期生~8期生との再会懇談・懇親夕食会を行いました。ここ10年でベトナムホーチミンは、素晴らしい発展ぶりに驚きました。高層ビルが立ち並びバイクは少なくなり自家用車が、増えていました。物価は、まだ低いですが住みよい都市となり、サラリーマン平均給与月5~6万円、普通預金金利は以前と大差はなく7.1%でした。

帰国後の3月からは、新型コロナウイルス感染防止のため例会が、すべて特別休会中、地区の行事もすべて中止、5月の台北城中RC周年事業も延期、今期中には開催出来ないのでは?・・・このままでは、会長任期半期の例会で、終りそうです。

地球上最大「世界疫病」新型コロナウイルス菌の終息を願っております。(曲突徙薪)



一年を振り返って

瑞浪ロータリークラブ
会長 **渡辺 真**

本年度当クラブは、創立60周年を迎えました。これまで周年実行委員会で記念式典、記念事業等の準備を進め、会員一同5月の本番を楽しみにしていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で、計画の多くを延期あるいは中止とせざるを得なくなりました。誠に残念です。

一方、「職業奉仕」をテーマにしたクラブ運営については、(株)エイ・ダブリュ・瑞浪での会社見学会と職業をテーマにした会員卓話例会が実施でき、大変良かったと思っています。12月の家族例会、1月の少年柔道大会も盛会のうちに開催されました。安藤幹事始め役員会員の皆様に感謝申し上げます。

この後は、一日も早く新型コロナウイルスが収束することを祈るばかりです。



振り返り思うこと

多治見ロータリークラブ
会長 **市原 好二**

実質9か月の会長!新型コロナウイルスの感染拡大で、3月中旬から例会の開催や対外活動が困難になりました。しかし継続的に開催した理事会、執行部打ち合わせで、活動再開の適否や会員への情報連絡内容について話し合いを行いました。こうした機会を通じ、改めてロータリークラブの在り方や意義を考えさせられた1年でもありました。

今期は「三方よしロータリー」(会員・家族・地域よし)をクラブテーマとして掲げましたが、各委員会がテーマの趣旨に沿った様々な活動で盛り上げて頂きました。誠心誠意のご協力に感謝するとともに、会員各位がコロナショックを乗り越え、一日も早く通常の日々が戻ってくることを願っています。



一年を振り返って

恵那ロータリークラブ
会長 **各務 博之**

今年度、新元号令和に改元された初代会長として、クラブテーマを「さらに例会を楽しむ」四つのテストを重視して挙げさせて頂きました。会員卓話を重点に、3Kから4K(来て食って感動して帰る)へと楽しみの例会作りに各委員会と進んでまいりました。

青少年事業では2名の交換学生と米山奨学生を受け入れ中です。前半大行事としてメンバー結束してI.Mを盛大に開催出来ました。後半は新年家族会の後、新型コロナ感染の拡大防止の為に通常例会を特別休会に残事業・地区行事の中止、クラブでは交換学生途中帰国を決定させるに至り終わろうとしています。

ここまで支えてもらったクラブ会員の皆様に感謝申し上げ御礼の言葉とさせていただきます。

2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年を振り返って

土岐ロータリークラブ
会長 **水野 紘彦**

年を重ねてくると共に、脳梗塞、心不全、不整脈などの体調が思わしくなく、入院でもしたら会員の皆様等に大変なご迷惑を掛けることになりかねないので、会長の席は辞退できることならと考えていました。しかし、ご指名を頂いたならお受けしなければという気持ちがあり一歩前進に踏み込みました。これが一年前の私の正直な心境でした。

土岐市にありました2つのクラブも会員減少より5年ほど前に合併致しました。私としてはこれ以上の会員の減少を避けるよう、趣味などを通じてお互いの絆を保つように会長テーマを「つながりを感じよう」と掲げて進めて参りました。

事業として、7月花火大会翌日清掃、9月土岐ふるさと福祉村(市内にある障害者施設のネットワーク)フライングディスク大会、この大会には土岐商業高校IACの生徒さんにもお手伝いに来て頂き楽しい時を過ごしました。

11月には京都嵐山への家族会、1月には新年互礼会を開催し当クラブ会員5名のロータリーバンドの演奏で盛り上がりました。しかし、新型コロナウイルス感染予防の為3月・4月の例会も休会となり、一部の事業も開催できなかったことが残念です。最後に会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



一年を振り返って

多治見リバーサイドロータリークラブ
会長 **河人 宗寿**

辻ガバナ「総天然色」のテーマのもと、わがクラブは「手をとって共に行く 愛あるロータリー」としてスタートしました。上半期には、外部卓話講師に地域や社会で活躍されている地元女性士業や女性管理職、経営者の方々を迎へ華やかな例会が続きました。

また念願でもありました、聖地「米山梅吉記念館」を訪れ例会を開催、とても満足しています。辻ガバナとは、地区青少年交換委員会で同席し、とても親しくさせていただき感謝しています。

地区大会は「総天然色食堂」を含め本当に楽しい、いい大会でした。受入留学生ルビィちゃんも楽しい思い出を胸に無事オーストラリアに帰国。また派遣学生安藤瀬太郎君は今でもアメリカで頑張っています。

下半期、残念ながら休会自粛が続き、志半ばで職を終えるのは残念ですが、致し方ない事。その間は、会員のロータリー熱が覚めぬよう、ウィークリー特別号を発刊。会員の近況報告や応援メッセージを掲載し、毎週オンライン等にて発行。ロータリーの「絆」を絶やさぬよう努めました。こうなったらもう一度「会長」職をやらんと死ぬに死ねません(^_^)。合掌



一年を振り返って

多治見西ロータリークラブ
会長 **伊藤 正雄**

第45期の会長をうけてから2回目の第54期会長を拝命して早一年が過ぎようとしています。最近では新型コロナの感染予防対策で例会も連続して休会続きで寂しい限りです。

この間、主要な事業として会員一同、一致団結して行った発達障害児のご両親を対象にした親子ケア事業「子育てコーチングセミナー」が昨年9月19日に多治見文化会館に300名前後を動員し無事終了したことは一番の思い出です。

会員増強等が計画通りいかなかったことは反省点ですが、新型コロナ感染予防等でご苦勞されている多治見医師会にマスクの贈呈式を、この4月28日に行う予定で、これからもロータリアンとしての資質を高める努力の中で、更なる奉仕活動が継続できればと思っています。



一年を振り返って

美濃ロータリークラブ
会長 **市原 孝雄**

年間を通じて一番印象に残った事業は、地元武儀高校生と行った避難所運営ゲーム(HUG)です。此の事業は近年自然災害の多い中、災害発生を想定して避難所に見立てた高校の体育館を紙面上で効率的に配置・運営していく体験講座です。昨年からの継続事業でも有りメンバーも高校生もかなり手際よく実施出来ました。生徒達が将来社会に巣立ち災害に直面した時に、今回の体験講座が必ず生かされると確信しました。

近隣クラブとの交流という観点で、郡上八幡RC・郡上長良川RCとの3クラブ合同親睦例会を11月に実施しました。3クラブは、設立時の親・子供・孫の関係で有り、深い親睦の輪が出来ると共に来年度の再開を互いに誓いました。

また、恒例行事になっている関中央RC・関RCとの3クラブ親睦花見例会は新型コロナウイルスの為に中止せざるを得ませんでした。今は、早いコロナの終息と例会の再開を願うばかりです。



一年を振り返って

中津川センターロータリークラブ
会長 **南 裕之**

新型コロナウイルス感染拡大の中、一年を振り返っている場合ではありませんが、この場を借りて皆様に感謝申し上げます。

中津川センターロータリークラブは、創立45周年記念事業、式典を心配しながらも挙行できました。メンバー皆様、関係各位には絶大なご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。ただ残念なことは姉妹提携クラブ台湾新莊扶輪社の来日が叶わず、おもてなしが出来なかった事が悔やまれます。

今、新型コロナウイルス感染拡大の中で我々の出来る事は、不要不急の外出を自粛して収束するのを待つことです。



一年を通じて

各務原ロータリークラブ
会長 **横山 浩之**

ロータリークラブへ入会し、年数が比較的浅いのにも関わらず大役である会長職を務めさせて頂けた事に感謝しております。

事業計画(案)の段階では、ロータリーについて色々学ぶ良い機会であったと思っております。

私にとっての主な事業は、地区補助金事業(スポーツ少年団との触れ合い・寄付)でした。将来を担う子供達へスポーツを通じ健全育成の一助となればと思い開催しました。結果子供達が生き生きとスポーツをする笑顔に嬉しさを感じる事が出来ました。

下期は、新型コロナウイルスの影響で主な活動は出来ませんでした。一年を通じて色々な経験が出来た事に感謝しております。

今後も微力ながらもロータリー活動の一助になれるよう精進してまいります。



一年を振り返って

関ロータリークラブ
会長 **土屋 佳久**

私たちのクラブは50歳代以下の割合が6割以上です。50年を超える伝統クラブとして、若者が多い現状、そして、今後発展する為を一番に考え、テーマを「私ができる社会貢献をしよう」としました。

例会出席をお願いするのは勿論、各事業に参加してもらえるような委員会構成にしました。2月までは、計画から実行まで順調にいき成功した事に大変満足しています。

ただ、もう1つサブテーマとしていた「会員、会員家族との親睦を一層深めたい」と思っていた所の現在の状況。3月に予定していた家族旅行が中止となつてしまい、これが心残りです。出来る事なら3月からやり直したいです。

明るい未来が近く来ますように!! 1年間ありがとうございました。



一年を振り返って

郡上長良川ロータリークラブ
会長 **和田 良一**

7月、ガバナー公式訪問の前日に辻ガバナー他数名と、我がクラブ会員十数名とで大変楽しい宴が出来た事、一番嬉しかったです。

また、辻ガバナー様と地区事務所の方3名で分踊りに来ていただいて、一夜我がクラブのメンバーと一緒に踊っていただいたこと、大変楽しかったです。

地区大会すべて手作りで運営なされたこと、特に料理、「総天然色」食堂が良かったです。倍賞千恵子さんの講演も良かったです。

クラブでは今回初めて地区補助金に挑戦したことが一番良かったです。残念な事は2名の退会者を出したこと、経済的理由で2名とも辞められました。それと入会者がなく寂しいです。

コロナウイルスで4月からは活動していません。大変残念ですが、仕方ありません。会長のメッセージは毎週出していますが、例会ができないのがたいです。今年度中に新会員を2名入会してもらい、次の方にバトンを渡したいです。



一年を振り返って

郡上八幡ロータリークラブ
会長 **村土 時男**

今年度前半の活動報告として、7月第1週目にガバナー補佐訪問、第3週目にガバナー訪問がありました。7月中旬から8月にかけて、奉仕活動として公園のベンチペンキ塗装、郡上おどり会場周辺パトロールを行いました。

また親睦では、3クラブ(美濃・郡上長良川・郡上八幡)での交流会を初めて開催しました。初めてお会いする方々もあり、職業奉仕にも繋がったと思います。

11月の地区大会では、辻ガバナーをはじめ第2630地区の皆様のご協力により、当クラブ会員 大畑左武君の100歳のお祝いにお招き頂き、本当にありがとうございました。私達郡上八幡RCの誇りであり、感謝しています。

後半に入り、世界を狂わせる新型コロナウイルスが発生して、クラブの全ての行事・活動が中止、全ての皆様のご職業にも影響が現れています。今後どのようにしてこの困難を乗り越えて行くのか。今年度のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。世界中がひとつになって、この新型コロナウイルスに打ち勝っているようではありませんか。



一年を振り返って

各務原中央ロータリークラブ
会長 **石黒 敦**

各務原中央ロータリークラブは、平成元年3月3日創立以来、いろいろな奉仕活動を行ってまいりましたが、令和2年6月30日をもって解散することとなりました。

第2630地区、東海北陸道グループの各クラブとしてロータリーの皆様には、大変お世話になりました。

当クラブは、解散することとなりましたが、皆様の各クラブのますますのご発展ご活躍をお祈りしています。



一年を振り返って

関中央ロータリークラブ
会長 **吉田 和也**

本年度、第43期の会長を仰せつかり、大変な緊張と身の引き締まる思いでスタートした一年でした。クラブのテーマを「One for all, All for one. 協力しあい成長するロータリー」とさせて頂き、様々な地区活動やクラブ事業、又、今年度ホストさせて頂いた事業等におきまして、幹事、副会長、クラブ研修リーダーをはじめ会員、事務局の皆様方へ大変ご協力を頂きまして、無事に行うことができ誠に感謝しております。又、この様な大役をさせて頂いた事で、ロータリーの事を少しばかり理解できたように感じ、何よりも私自身成長できたのではないかと改めて感謝いたします。まだコロナの終息が見えない不安な状況ですが、本当にお世話になり有難うございました。



一年を振り返って

各務原かかみのロータリークラブ
会長 **片岡 紀生**

ガバナー月信6月号に掲載予定の原稿依頼により、新型コロナウイルス感染症 真最中時に書く。

丁度昨今の頃、PETSにて辻ガバナーエレクトとの話の中に「君のクラブ大丈夫か?」との問いに「頑張ります!」と返事。「何でも言ってくれよ」との暖かいお言葉をいただき、クラブ内では解散ムード一杯の中、何とかならんか・・・頭の中はそればかり過ぎり、居酒屋で飲んでいても ゴルフをしていても そればかり。

ある時、ゴルフ中に他のメンバーに実情を話したら驚いたことに9名の紹介をいただき、早速推薦状を出し理事に了解をいただきました。現在7名の入会予定となりましたが、新型コロナの影響で例会が開催できません。速やかに新型コロナの終息を祈るばかりです。まだどうなるか解りませんが頑張ります。凄い一年でした。

2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年を振り返って

高山ロータリークラブ
会長 **山下 英一**

一年を通して、楽しく、有意義で充実した例会を開催することを目標にスタートを切りました。インターアクト年次大会では、戦後最悪と言われる日韓関係の中、韓国からの交換留学生に参加していただき、無事開催することができました。

地区大会では、インターアクト最優秀提唱クラブとして、地区表彰を受けることができました。しかし、元年は災害も多く、多くの皆さんが被災されました。

令和2年、新年例会も無事開催され、これからというときに、covid-19による感染の拡大を受け、3月より例会を取りやめる事態となり、非常事態下でのロータリーについて考えさせられることとなりました。この感染症の早期の収束を祈り、今年度の総括とさせていただきます。



一年を振り返って

美濃加茂ロータリークラブ
会長 **亀井 俊哉**

現在では新型コロナウイルス感染の問題で振り回されていますが、今期最初の半年間は国際ロータリー会長マローニー氏の今年のテーマを受けて、そして地区のテーマを反映させながら会長スピーチを通して全委員にその趣旨の周知を図りました。

特にここ数年の間に変化してきた国際ロータリーの方針を受けて日本のロータリーが大切にしてきた職業奉仕とは何か、と言うことを中心に日本のロータリーの100年の歴史を踏まえて、改めて先輩方の業績を訪ねて、了解したことを会員皆さんに伝えることを主眼に置いてきました。

後半では、それまでに伝えてきた事を基にして、今後のロータリーはどうあるべきか伝えていこうと持っていた矢先に新型コロナウイルスの問題が生じ、例会を開くこともままならず、じくじたる思いを抱えながら今日に至りました。



一年を振り返って

下呂ロータリークラブ
会長 **桂川 廣明**

地域に根ざした活動を目指し、推進することを基本テーマとして数多くの事業を展開することが出来ました。益田清風高校の「アジア・アフリカ救援衣料回収活動」等インターアクトクラブへの協力、下呂中学校での桜の木でのんぐ巣病駆除作業、青少年交換事業では、ホストファミリーの方々並びに益田清風高校にご協力を頂き、今年度もアメリカとオーストラリアから2名の留学生を受入れ、当クラブの基本事業として、受入35名、派遣35名と、実績を積み重ねることが出来ました。

行政と一体になって取組む減塩食普及推進事業では、下呂市と共催で「G3フェスタ健康イベント」を開催し、減塩ポスターコンクールで「下呂ロータリークラブ会長賞」「下呂市減塩推進委員会特別賞」を贈呈し、広報活動にも努めてまいりました。これら一連の活動において下呂市は、「第8回健康寿命を延ばそうアワード 厚生労働大臣 最優秀賞」受賞の栄誉を受けることができました。

また、会員増強につきましては、5名の方にご入会いただき、会員一丸となって取組んだ賜物と感謝しております。

最後に、任期中に発生した、新型コロナウイルスの早期終息をお祈りします。会員並びに関係者の皆様、1年間ありがとうございました。



一年間を振り返って

可児ロータリークラブ
会長 **加藤 敬司**

本年度可見RCは、「ロータリーの目的」を実践し、革新と柔軟性に満ちたRC像を目指してまいりました。具体的には、会員増強（年間6名）、地区補助金事業、EREY等各事業の遂行をテーマに活動し、会員の皆様と共に全ての事業を完遂することができたと考えております。

私自身としては、会長の時間を通して、ロータリー月間の推進とその意義について、ロータリー以外にも新たな情報を提供することを意識し、例会の充実を自身からスタートすることをテーマに進めてまいりました。

会員の皆様にはどこまでの満足のいくものだったかは分かりませんが、ご協力により、充実（新型コロナウイルスの影響を除き）した1年であったことを心からの感謝申し上げます。



一年を振り返って

高山西ロータリークラブ
会長 **遠藤 隆浩**

現在のコロナウィルスについては全く想定はしていませんでした。インバウンドで賑っていた観光の町高山市もその影響は多大なものです。毎週金曜日の昼に行っていた例会も3月から休止しています。新年会が大変楽しかっただけに残念でなりません。

そういった中でも上半期に大きな出来事がありました。ひとつは小学生高学年を対象にした財団補助金事業「防災と自然に触れる体験学習交流会」を8月に開催し大変好評でした。もうひとつはかねてから懸案の事項であったCLPによる組織改革を来期から新組織で実行できるよう決定しました。

一日も早いクラブ活動の復活を願ってやみません。



一年間を振り返って

高山中央ロータリークラブ
会長 **坂之上 健一**

一年を振り返ると駆け足で過ぎた一年だったような気がします。当クラブは新年度始まってすぐ地区補助金を受けての大きな事業がありその準備は前年度の秋からしなければならなく慌ただしさからのスタートでした。そして次期ガバナー輩出クラブとして決まり、地区行事の準備等も重なり大変忙しい一年でした。

又、年が明けてからは「新型コロナウイルス」感染騒動が本格的となり例会の変更や事業の変更など今までに体験したことのない事だらけで私にとっても大変勉強になった一年でした。仕事の事はもとよりロータリアンでなければ経験する事の出来ない充実した実り多い一年を過ごすことができ大変勉強になりました。



一年を顧みて

桑名ロータリークラブ
会長 **佐藤 正信**

会長を拝命し上半期は例会と様々な行事であつと言う間の半年でしたが、下半期は一転世界中が命と健康を守るため耐える日々となり、見えないものへの恐怖をあらたにしております。

例会、理事会休止により検討事項を独断で決定せざるを得ませんでした、会員の皆様にご理解頂き心より感謝申し上げます。

この危機の終息に必要なのは地域の人々と感染防止への意識を共にする以外に無く、自粛の最中でもRCとしてできることを見出し、自らの術を平和の道具として生かしていきたいものです。

最後に辻ガバナーへ。困難の最中にあっても私共をお心にかけ励まして下さったことは忘れません。一年間ありがとうございました。



一年を振り返って

桑名北ロータリークラブ
会長 **加藤 仁美**

原稿を書いている4月現在新型コロナウイルス騒動で例会が臨時休会中です。まさか年度の後半の例会が開催できなくなる事は全く予想していませんでした。

昨年のこの時期は期待と不安が混じりあい会長の重責が果たせるか心配でした。しかしながら新年度が始まってみると幹事をはじめ各委員長が事業をどんどん進めていただき、主だった事業が完了していたことは不幸中の幸いです。まさに会員皆さんに支えていただいたロータリーライフでした。

あと会長として残された期間は2か月ですが例会の開催が不透明な現在、Eクラブの例会のように新しい運営方法を模索していくことも考えないといけないのかもしれません。

新型コロナウイルスとの戦いは手を緩めることなくかつ必要以上に怖がることなく拡大阻止が大切です。月信が発行されている頃には収束していることを願って1年のあいさつといたします。



一年を振り返って

桑名西ロータリークラブ
会長 **水谷 隆伸**

7月に会長を拝命し、早いもので1年が過ぎようとしています。「ロータリーをもっと楽しみましょう!」と言うテーマのもと、例会を緊張感ある中、充実し楽しめる例会を目指して取り組んでまいりました。

例会の内容を少づつではありますが、変化をつけて行っていました。全て2月末まででした。

3月より1人の新入会員を迎えることになっていましたが、3月以降の例会は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて休会とさせていただいております。一日でも早い終息を願うばかりです。



一年を振り返って

四日市ロータリークラブ
会長 **秦 純二**

クラブのテーマを「知って 知らせようロータリー」とし、スタートを切らせて頂きました。例会に出席することで会員と出会い、ロータリーについて知り、社会にロータリークラブを知って頂くことを心がけて事業を行ってまいりました。

本年度はIMのホストクラブをさせて頂き、5クラブ合同例会は四日市グループの親睦を重視する方向で実施させて頂きました。実行委員長を中心に素晴らしい運営がなされ、各委員長並びに委員それぞれの力量の高さと組織力を実感させて頂きました。後半は新型コロナウイルスの感染拡大のため、例会を始め事業の中止を余儀なくされ、各委員会の皆様の企画の執行ができなかった点が心残りです。



一年間を振り返って

桑名中央ロータリークラブ
会長 **伊藤 匡昭**

昨年3月のPETSに始まりすでに1年を経過しようとしています。この一年間、坂新太郎ガバナー補佐様のご指導のもと幹事、会員の皆様に支えられて無事役目を全う出来そうです。

10月のIMはホストクラブとして辻ガバナー様のご指導、さらに桑名グループクラブメンバーの皆様のご協力にて無事開催できました。また、新しい事業として日本スペシャルオリンピックス三重さんに対して後援を行い継続事業といたしました。なんとといっても3月より新型コロナウイルス感染予防のため例会が休会となり行事も中止ということがいまだ続いております。今までに経験したことがない出来事で、ロータリーライフが変わってきております。こういう時期こそ会員相互のつながりを大切に、一日でも早く新型コロナウイルス問題が収束して、例会が開催できることを願っております。

最後に一年間支えてくださった加納幹事に深謝いたします。一年間ご協力誠にありがとうございました。



ロータリー活動の復活を祈願して

四日市北ロータリークラブ
会長 **岡本 仁志**

当クラブは、規模は小さいながらも和気あいあいとした雰囲気の中、会員皆で楽しく活動してきました。また、会員皆様のご努力で会員増強にも力を入れてまいりました。

そのような中、未曾有の新型コロナウイルスの流行で年度の途中より活動が全くできない状態になっております。ロータリー活動の基本である例会が全く開けない状態は、前代未聞であります。

このような状況の下では、リアルな活動はできませんが、個々の会員の皆様には、ロータリアンとしての誇りをもって、行動を自粛して頂き、また、自らの健康に留意して頂きたいと思っております。

一日も早い流行の終息、ロータリー活動の復活願っております。

2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年を振り返って

四日市西ロータリークラブ
会長 **水谷 慎志**

本年度RIマローニー会長の「ロータリーは世界をつなぐ」2630地区辻ガバナーの「総天然色」のテーマのもと、来年50周年を迎える歴史ある四日市西RCの49代会長を何とか務めさせて頂きました。

ご案内の通り新型コロナウイルスの影響で、3月より例会をはじめ春の家族会の中止・延期、交換留学生の早期帰国等、想定外の事象に遭遇しましたが、RI地区からの情報をもとに理事・幹事・事務局の皆さんと相談の上、感染防止のため最大限の配慮をさせて頂きました。一日も早い終息と通常のロータリー活動が再開されんことを心より祈念しております。一年間、皆様のご支援ご協力本当にありがとうございました。



一年を振り返って

鈴鹿ロータリークラブ
会長 **尾市 亥佐生**

今年の活動は、古き良き伝統に基づく行動規範に対して、新しい考え方に伴う基準が広がってきている中で、継続できる組織団体としての活動を、会員と共に進めていきたいと考えていました。

年始になり、通常活動が落ち着いてきて、これからディスカッションが進められると思っていたら、例会を中止にせざる得なくなる事態が起こってしまい残念でした。緊急事態対応で終わってしまった感じです。ただその中で、問題処理の方法などから、ロータリークラブは奉仕活動団体ということ、改めて考えさせられた思いです。

今年会長をさせて頂き、ある意味では貴重な経験をたくさんさせて頂きました。



一年を振り返って

四日市南ロータリークラブ
会長 **佐藤 譲司**

創立30周年を迎える年度に会長職を拝命し、緊張の中7月の例会をスタートしました。

会長方針発表では、本年度のクラブテーマとして、「現在・過去・未来」現在(30周年を迎えた2019～2020年の活動)・過去(クラブの歴史と伝統)・未来(30年後のクラブのすがた)を掲げさせて頂き、皆様に協力をお願いして順調に進行した前期(7月～12月)でした。

後期(1月～6月)には、30周年記念式典の開催を計画しましたが、「新型コロナウイルス」感染拡大により30周年記念式典は中止となり、3月・4月の全ての例会が臨時休会となり対応に苦慮しています。

コロナが終息し、通常例会が開催できる日が楽しみです。1年間有難うございました。



一年を振り返って

鈴鹿西ロータリークラブ
会長 **服部 高宣**

本年度、当クラブは創立35周年を迎える記念すべき年でした。3月には35周年記念式典の開催となっておりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、御出席いただく皆様の健康と安全を第一に考え、中止という苦渋の決断をくだしました。

非常に残念な結果ではありましたが、クラブの皆様と、35周年という記念すべき1年間を共に過ごせたことに何ら変わりはありません。それどころか、式典に向けたこの数ヶ月間は、皆さまへの感謝を実感しながら過ごすことができた貴重な時間となりました。

一人足りとも欠けることなく40周年を迎え、この35周年の分まで皆さまとお祝いをしたいという夢を持つことが出来た1年となりました。ありがとうございました。



一年を振り返って

四日市東ロータリークラブ
会長 **永尾 壽啓**

順調に始まった当クラブの奉仕事業「海とのふれあい2019」と複数の親睦事業は成功裏に収めることが出来ました。しかし、終盤にかけては新型コロナウイルスの猛威により多くの事業を取り止めにしなければならなくなり、誠に残念なのは「創立25周年記念事業」を取り止める決断をしなければならなかったことです。記念事業開催にあたり多くの会員が力を合わせてきただけに、無念な気持ちで一杯になりました。

その様な苦境の中で「ザンビアの辺地医療を行う山元香代子先生の支援」として寄付金の寄贈を行えたことは、今私達が直面している、無数の病原に対峙している医療を支援する事として満足しています。全世界が困難に直面している時に会長職を拝命し、非力ながら船頭役が出来たことに感謝しお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。



一年を振り返って

鈴鹿ベイロータリークラブ
会長 **谷田 義弘**

「コロナ危機」は、当クラブの活動にも甚大な影響を与えましたが、ここでは私の心の残ったことを二つ記します。

まずは、「鈴鹿ベイロータリークラブ杯ジュニア柔道大会」では、柔道をやっている人は「礼儀正しいなあ」「親切だなあ」「優しいなあ」と思われるような人になってくださいと伝えることができました。

つぎに、地元小中学校卒業生との「鼓ヶ浦海岸松の木植樹卒業記念事業」では、これからの人生で辛いことや悲しいことに出くわしたら、何百年も潮をかぶりながら、風雨にさらされて奇妙な形になっても必死に生きているこの松の木のことを思い出して欲しいと伝えることができました。会長挨拶をさせていただいたおかげです。



一年を振り返って

亀山ロータリークラブ
会長 **赤塚 英則**

早いもので、今期も残すところ2か月になりました。昨年7月、会長に就任し不安のまま今期がスタートしたのが昨日のように感じます。

当クラブは、小規模クラブで今期はとにかく増強に力を入れていきたいと始まりました。前期に会員の皆様の努力のおかげで、3人の新会員を迎えることができました。年が明け、後期一番大きな行事である亀山大市も亀山高校IACの協力を得て、ポリオ根絶募金活動を行い無事終えることが出来ました。

そして前期3人の増強に満足せず、この勢いで今期中に15人の会員数を20人まで増強するという目標に向かって、会員一同頑張ろうとしていた矢先、新型コロナウイルスが世界的に発生し、三月から臨時休会、各行事の中止、今まで経験のないことで戸惑うばかりです。後半ほとんどロータリー活動が出来ませんでした。残り2ヶ月、会員の皆様と何か出来る事がないか考えながら頑張りたいと思います。

そして新型コロナウイルスの終息を願うと共に、会員の皆様のご協力のおかげで、至らない所があったと思いますが、無事任期を終える事が出来そうです。本当にありがとうございました。



一年間を振り返って

上野ロータリークラブ
会長 **稲濱 建夫**

年当初、この伝統ある上野ロータリークラブの会長を引き受けて、身の引き締まる思いを持って取り組んできました。「職業奉仕の理念」に思いを馳せて、地域に貢献していくことに重きを置き、ロータリークラブの活動をアピールしてまいりました。

本年度、若者にチャレンジできる機会を設け、交換留学生を派遣することが決まり、相手国も決まっていた矢先、新型コロナウイルスの影響で残念ながら中止となりました。唯一、出来た事業は、「青少年に夢を」の少年野球教室でした。

今、後2か月で会長としての役割が終わろうとしています。活動ができたのは8か月、これから最後にスパートをかけてしっかりと事業を取めようと思っていたのですが、新型コロナウイルスの影響で非常に満足のいかない終わりになりそうです。しかし、少しでも成果を残し次期へ繋げたいと考えています。今後、次期会長と共にこの悔しい思いを、これからのロータリー活動にぶつけていきたいと思っています。この1年間会員の皆様には、ご協力頂き大変ありがとうございました。



一年を振り返って

鈴鹿シティロータリークラブ
会長 **岡村 信之**

「Here we go Let's active!」

1. 青少年とつなぐ! 2. 中日本のロータリーとつなぐ!

この活動方針・テーマを掲げ、スタートいたしました。

7月に鈴鹿市児童家庭支援センター「箕田」に屋外遊具を寄付させていただき、訪問しての例会を開催させていただきました。8月には、児童養護施設の里山学院様の夏祭りに参加し、かき氷などを振る舞い、子供たち、お世話をする保育士さんたちと交流を図りました。10月には、里山学院施設長にご講演をいただく例会を開催し、我が町の子供たちを取り巻く、様々な社会の問題点を勉強させていただきました。

社会奉仕・青少年奉仕を標榜するクラブとして、会員全員が、子供たちを取り巻く現況とこれからの取り組むべき問題を共有できたことは、大変有意義であったと思います。



一年を振り返って

名張ロータリークラブ
会長 **前田 喜久雄**

名張クラブは、ノーマライゼーションの気持ちを大切に、気持ちを込めて障害のある人々と共に看護学生や、ロータリアンと地域をあげて地区の協力を得て親睦・交流ポッチャ大会を開催することが出来ました。また、会員増強担当の強いリーダーシップの下、会員の増強が実現することが出来たのは、「至高の喜び」である。ロータリーという場で知り合ったかけがえのない友人が増えるのは良いものである。思いやりの心について、「ロータリーの心と原点」をメンバーと、それぞれが思い思いに読み返し、ロータリーについて理解を深める一助になったことと思う。

中高年層の多いクラブの会員でも、今年ほど病人が多く出た年周りは無い。幹事が、病を推して役務を果たしてくれたことは、心より感謝する。今思えば感慨深い1年でもあった。症状が段々と悪くなる中、強い責任感で、務めてくれたことに頭が下がる。どうか病気の無い世界になって、世界中のみんなが幸せになって欲しいものです。最後に、至らぬ私を支えて下さいました会員の皆様方に心より感謝申し上げます。そして、新型コロナウイルスの一日でも早い終焉を願うばかりです。



一年を振り返って

津ロータリークラブ
会長 **増田 冬樹**

『創立70周年、辻ガバナー誕生、様々な場面で津RCの会員相互がつながる1年となります。』と発進した1年も振り返りの時期となりました。

70周年事業として津RCが「ポリオ根絶」の一助になりたいと思ひ、年間を通して毎例会時に募金をお願いし、全会員のご協力を得て目標額の1万ドルを達成することができました。

70年の歴史を振り返る機会としてパスト会長に卓話をお願いし、ロータリーに対する想いを語っていただきました。

コロナで例会ができない期間はメール配信でつながりを保ち、またYouTubeにて会員の元気な姿もお届けいたしました。

辻ガバナーの元、地区行事に会員が携われたことで会員がよりつながり、より強固な津クラブとなった1年でした。



一年間を振り返って

津南ロータリークラブ
会長 **今野 信太郎**

今年度、当クラブのテーマを「新しい時代につなげよう 親睦と奉仕の輪」と致しました。上半期は、辻ガバナー公式訪問津4クラブ合同例会、中勢・伊賀グループIMのホストとして、地区大会のコ・ホストとしての役割を果たし、いよいよ下半期に向かい、スペシャルオリンピックス日本・三重を支援すべく中勢・伊賀グループポッチャ大会や親睦家族旅行の企画準備を進めて参りました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により3月から通常例会を始め、全ての行事中止という決断をせねばならず、誠に残念でなりません。一刻も早いこの感染症の終息を願うばかりです。少し消化不良の思いもありますが、1年間支えて頂きました地区関係者は勿論のこと、会員諸氏皆様に感謝申し上げます。

2019-2020 年度 クラブ会長挨拶



一年を振り返って

津北ロータリークラブ
会長 **乙部 公裕**

今期創立50周年を迎えた当クラブは、50年50名会員達成を掲げた前年度会長・幹事以下会員一同の努力で10名以上の会員増強を実現してスタートしました。

その中で会長を務めるに当たり、「ロータリーを知ろう、参加しよう、楽しもう」という私自身への率直な思いと、新たな会員に先ずはロータリーの楽しみを発見してもらいたいという思いをクラブ運営の基本として掲げ、例会や社会奉仕事業、何より50周年記念式典・事業の実現に会員の皆様一丸となって努力して頂き、少しはロータリーの絆を深めることが達成できたかと皆様に感謝しています。

ロータリーの基礎はクラブでありクラブを支える会員だということを改めて強く感じた1年間です。



一年を振り返って

名張中央ロータリークラブ
会長 **市川 裕規**

設立25周年の記念すべき年に、会長職を仰せつかりました。入会7年目での大役で、至らぬ所が多々あったかと思います。

節目の年に相応しいフィナーレに向けて、準備を進めて参りましたが、2020年に入って、まさかの新型コロナ禍の襲来です。当クラブの例会は、3月中旬以降、休会を余儀なくされています。今のところ、例会再開の見通しは立っていません。新型コロナ禍は、私たちの健康状態のみならず、経済活動にも大きな脅威となっていますが、このような時こそ、ロータリーの在り方や存在意義が問われる時であるのかも知れません。

最後に、生田幹事を始めとする会員、ご婦人の皆様、また事務局の森垣様に支えられたこと、深く感謝申し上げます。



一年間を振り返って

上野東ロータリークラブ
会長 **出後 秀雄**

RIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、地区テーマ「総天然色」を受け、クラブテーマを「親睦と奉仕を大切に・ロータリーを楽しもう」としました。

7月に京都伏見の30石船遊覧・貴船での川床料理。10月には宝塚歌劇観劇と会員ご家族の多数の参加を頂きました。奉仕事業としては特に地区財団補助金事業に力を入れ手裏剣ならぬ「手裏輪(しゅりりん)大会」を開催しました。市内の保育園、幼稚園、小学生、父兄、関係者合わせて約400名の来場があり、地域でロータリーの存在をアピールすることが出来たと思っています。

また今年度初めて米山奨学生を受け入れたことも、クラブにとって大変有意義でした。



一年間を振り返って

松阪ロータリークラブ
会長 **松本 敏成**

一年間、会長所信のもと「不易流行」「ロータリアンとして個々の成長」を目標に邁進して参りました。

残念ながら、終盤は新型コロナウイルスにより道半ばであることへの無念さは拭えませんが、私の人生において「会長」の経験は大変貴重なものであり、皆様のご協力とご鞭撻に心より心より感謝申し上げます。

世界は今、大きな苦難に直面しております。しかしながら、人類は長い歴史の中で数々の苦難を乗り越えてきました。今回も必ず乗り越えられます。そして今こそ！【ロータリアンとして奉仕の精神を持ち、有能で思慮深く、寛大な人々が手を取り合い正しく行動を起こす】正にその時であると確信しています。



一年を振り返って

久居ロータリークラブ
会長 **山松 健一**

年度が終盤に差し掛かった頃合いを見透かした様に新型コロナウイルスという化物が現れ、政治も経済も社会も狂わせる破壊力を見せつけました。

その為にゴール前4か月は、空白の時間となりましたが、本年度は昨年10月に井村屋グループ(株)の中島社長様にお越しいただき一般市民の皆様約150名をお迎えし、ご講演いただき、創立25周年事業も無事終えることが出来、充実した25年目を飾ることが出来ました。

最後の仕上げの段階で少し躓いたことが残念でしたが、会員の皆様の力で事業を終えることが出来ましたことに対し衷心より厚く御礼申し上げます。



一年間を振り返って

松阪東ロータリークラブ
会長 **地主 昌美**

今年度、我が松阪東ロータリークラブは創立50周年を迎えました。当クラブのすばらしい歴史を刻んで来られた先輩諸兄に敬意を表わし、この50年の長きに亘る歩みにより培われた「和」の心と「輪」を新しい未来に向け繋げていけることを願い、繋ぐ「和と輪」のテーマのもと、周年実行委員会や会員の皆様と共に周年について熱心に討議できたことは大きな意義があったと思います。

残念ながら、新型コロナウイルス拡散防止対応として記念式典は開催できませんでしたが、記念事業として、毎年交流を深めている児童福祉施設聖の家様への遊具贈呈、松阪市観光案内板のリニューアルの事業を実施しました。

会員皆様との和を実感し、感謝の50周年でした。



一年を振り返って

熊野ロータリークラブ
会長 **糸川 佳男**

7月に始まり、今年は、色々やってみようと、まずは例会回数を、4回から3回に変更しました、若いメンバー含め最終週の出席は厳しいの意見も聞き、その経緯において、クラブ全体で色々な貴重な意見がでて、とても有意義な船出でスタートしました。

また、女性会員も増えて、夜間昼間のバランスも考えながら、途中、プログラム委員長には苦勞をかけました。

年も明けて、折り返し地点で、コロナウイルスが、年が明けて2月から発生しました。まさかこれほどの状況になるとは、想定外でした。油断もあったかもしれません。3月から例会の運営が厳しくなり、このまま6月まで開催できないことになるかもしれません。ガバナーのメッセージもありましたが、このような状況だからこそ、「つながり」が大事であり、原点に戻りもう一度見つめなおす機会かもしれません。

職業奉仕も厳しい状況ではあります。出来ることをまず、行いたいと思います。次の会長へのバトンを渡すまでに、何かを残したいと思います。



一年を振り返って

伊勢ロータリークラブ
会長 **天竺 徹**

今期一年を振り返るにあたり、やはりどうしても新型コロナウイルス感染症の話避けて通る事は出来ないでしょう。

突然、昨年末に中国は武漢市で最初に新型コロナウイルス感染者が確認され、以来瞬く間に日本を始め全世界に広がりました。この未知のウイルスに対して、これといったワクチンや特効薬も無く、不安の中、皆さんの健康維持と感染拡大防止を第一と考え、三月と四月の例会、そしてその間の全ての催しを中止とさせて頂きました。この例会中止により、お互いロータリーを語り合える場が無くなってしまった事は非常に残念でなりません。

必ず近いうちにこの感染症を封じ込める為のワクチン・特効薬が開発され、我々通常の生活に戻れるものと信じています。一刻も早く例会が再開され、ロータリーを皆で語り合える日が来ることを、楽しみにしています。この一年、会員の皆様の暖かいサポートとご指導に、心より感謝申し上げます。



一年間を振り返って

尾鷲ロータリークラブ
会長 **小倉 眞左美**

今年度、尾鷲ロータリークラブは45周年を迎え、「笑顔のロータリー活動」をキャッチフレーズに奉仕活動を頑張っておりました。

今年度の奉仕活動として、ポリオ募金活動、市内清掃活動、「海と山をむすぶ漁民の森づくり」をテーマとした継続活動である苗木の寄付と植樹活動、「少年サッカー尾鷲ロータリー杯」も継続して行うことができました。

また、今年度の地区補助金活動として特別支援学校東紀州くろしお学園おわせ分校にサイバーホイール(体幹を鍛える遊具)を寄贈の上、行事に参加し子供たちと交流を行い、子供たちに大変喜んでもらい感激いたしました。

会員の皆様に支えていただき楽しく笑顔で活動ができた充実した1年でした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

早期に新型コロナウイルスが終息しますよう心よりお祈りします。



一年間を振り返って

鳥羽ロータリークラブ
会長 **林 巧**

56期、例会場が代わり、新たなスタートでした。設営等、初めての試みでトラブルの連続でしたが、お弁当を各店舗からケータリングをすることで会員に大変喜ばれました。

事業については、地区財団補助金を利用したボッチャ競技大会も好評でした。また、歳末家族例会では子ども達が主役になったアトラクションは家族にも楽しんで頂きました。すべてにおいて、会員の連携のお陰で、一年が過ぎようとしています。

4月現在、新型コロナウイルスの騒動で余儀なく休会しております。クラブにとって、例のない事態でございます。プログラムの調整、今後の引継ぎにも支障をきたしていますが、今できることを協力し合い、この事態を乗り越えていきます。

この一年、メンバーに守られ活動できたことに深く感謝申し上げます。



一年間を振り返って

松阪山桜ロータリークラブ
会長 **村田 耕一**

松阪山桜ロータリークラブは25周年を迎え、記念式典の成功に向けて一生懸命準備してきましたが、突然の新型コロナウイルスのせいで、25周年記念式典が中止となってしまいました。まさに青天の霹靂ですが、世の中というのは、人知では想像もつかないことが突然、起こるものなので致し方ありません。

ただ、私達の記念補助事業である「ミャンマーにおける移動図書館事業の推進」は、会員全員参加のもと非常に成功したと思います。日本の心温まる絵本(神話、童話、昔物語)をミャンマー語に翻訳し、僧院で学ぶ子供たちに読んでもらい、子供たちの太陽のような笑顔を見て、情緒教育を育むうえで大変貢献できたと思っています。



一年を振り返って

伊勢南ロータリークラブ
会長 **佐藤 薫**

伊勢南ロータリークラブは12月7日・8日に海上自衛隊・舞鶴音楽隊を伊勢に招き「ふれあいコンサート2019」を行いました。クラブ会員が理事長を務める伊勢学園高校において、まず7日に伊勢市内5中学吹奏楽部の生徒約100人が楽器別に音楽隊隊員に演奏指導を受けました。

そして8日には体育館を会場に、指導を受けた中学生と市民計約1000人に音楽隊の演奏を楽しんでいただきました。この模様はガバナー月信2月号・ロータリーの友4月号でも紹介されました。三重テレビ・中日新聞伊勢志摩版・FM三重・ZTV(地元ケーブルテレビ)にも取り上げられ、ロータリーの広報活動にもなったと思っております。

会員・会員家族並びに準備・運営に協力いただいた伊勢学園職員・高校生に感謝いたします。ありがとうございました。

2019-2020年度クラブ会長挨拶／活動事業報告



一年を振り返り

志摩ロータリークラブ
会長 **田辺 紀彦**

10年前、2010年6月会員有志で開催した創立20周年記念事業の打上げ会で、「次の30周年記念事業年度の会長は田辺君やな」この一言がスタートでした。

10年の歳月が流れ、2019年-20年度の会長職に選出されてからの約1年半は、創立30周年記念事業・記念式典の企画立案から運営を遂行するために日夜奔走して参りました。

数々の記念事業も着々と熟し、いよいよメインイベント事業並びに記念式典の最終コーナーに入ろうとしたとき「新型コロナウイルス」による感染拡大が広がり、エンディングを迎えることなく「幻の30周年記念式典」が終了しました。

かろうじて、記念式典で行われる予定でありました、真珠石玉回転噴水モニュメントの目録だけは実行委員会役員の皆様と一緒に志摩市長にお渡しすることができました。何とか締めくりだけは出来たエンディングでした。心から感謝です。2030年6月の納会においてこの時の話ができますことを楽しみに次に繋げて参ります。



一年を振り返って

伊勢中央ロータリークラブ
会長 **山川 勝弘**

私たちクラブは本年度30周年でしたが、諸般の事情により記念式典並びに祝賀会を中止致しました。辻ガバナーを始めとするご臨席頂く予定でした皆様方には、伊勢中央ロータリークラブ会員51名を代表し、心からのお詫びとご理解に感謝申し上げます。

私たちのクラブは本年度、第2630地区伊勢鳥羽志摩グループガバナー補佐に浦田会員を出させて頂き、昨年9月には木村実行委員長の下I.M.も盛大に開催させて頂きました。

2021-2022年度には第2630地区のガバナーを浦田会員がさせて頂くことになったことをチャンスと捉え、本年度のクラブテーマを「未来への礎」とし誇りをもって楽しみながら進んで参りました。



一年を振り返って

伊勢度会ロータリークラブ
会長 **安田 千代**

会長就任にあたり、今年度の全体のテーマを「日本文化の探求」とし、例会を「全員参加の楽しいひと時」として開始した。

財団補助金事業「雅楽って何?世界最古のオーケストラ」の公演は滞りなく終了した。我々には世界に誇る文化がたくさんあり、もっとその文化に触れるべきであると感じた。

3ヶ月間例会の休会を断行し、未執行の事業もあるが、ここまで、無事に事業が執行できたのも会員全員の協力の賜物であり、結束の固さを実感した。コロナウィルス収束後、例会再開時には元気な笑顔で再会できることを望むだけである。

R財団奨学生面接

2020年4月25日(土)

R財団部門委員会 委員長 **平井 義之**

2020-21年度地区財団奨学生の面接をWeb会議にて開催いたしました。津のガバナー事務所、岐阜の地区事務所、各地の委員会メンバーと3名の候補者の自宅をそれぞれ繋いで面接を行いました。



会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会の中止

次期地区代表幹事 **中田 学**

『生き残る種とは、最も強いものではない。最も知的なものでもない。それは、変化に最もよく適応したものである。』

新型コロナウイルス感染拡大がまだまだ収まりません。拡大阻止のため、政府からは緊急事態宣言が発出され、併せて岐阜県からも非常事態宣言が発出されました。この状況を踏まえて、必ず開催するとの強い想いから一度延期して、4月と5月に開催準備を進めていた「会長エレクト研修セミナー(PETS)」と「地区研修・協議会」を共に中止としました。

ロータリークラブにとって次期に向けての大切な会議ではありますが、会員の皆様の安全が最優先ということで、辻ガバナー、剣田ガバナーエレクト、共に断腸の思いで決断されました。

しかしながら、この2つの研修会は次期クラブ運営に必須な資格研修セミナーなので、緊急対応として、これまでに例のない形式で代替セミナーをさせて頂くこととなりました。会員の皆様が集まらない形での実施を第一に考えたため、例年に比べると盛り上がり欠ける不本意なスタイルとなりましたが、外出の自粛により、オンラインのテレワークやリモートワークが進み、ネット通販やデリバリーの利用が増え、ワークスタイルやライフスタイルが変わり始めている今、「災い転じて福となす」の例えのように、この苦辛経験から、これからのロータリークラブの活動や組織運営の新しい形が見いだせるのかもしれない。

まさに今、新型コロナウイルスと人類との戦いの最中で、全く不謹慎であり、まだそんな余裕もないとお叱りを受けるかもしれませんが、これからも私たちの生活は続いて行きます。アフターコロナ、新型コロナウイルス感染拡大収束後の私たちの在り方について考えてみた時、冒頭の先人の言葉は大きな教訓になるのではないのでしょうか。

環境関連アンケート実施結果の報告

奉仕プロジェクト部門 社会奉仕委員会 委員長 河野 等

COVID-19に荒れるこの時期いかがお過ごしでしょうか。今年度も全75クラブの皆様からご回答頂いた環境関連アンケートの結果をまとめました。今後の各会員の環境保全活動への参考にして頂けるように早速そのデータの整理結果と分析をお送りいたします。

植樹は3月のアンケートまでの1年間の累積記録、乗用車種はこの時点の各会員が通常使用する(複数台を許容した)乗用車の調査結果を3年間に亘って比較しました。

最後になりましたが、新型コロナパンデミックで3月4月はほとんど例会が開けなかったにもかかわらず、全クラブからご回答頂き感謝とともにロータリーの絆に敬意を表する次第です。近々会える日を楽しみにしています。お元氣でお過ごしください。

1 2018.3-2020.3の植樹活動について

2018年度から2020年度3月までの期間で植樹実績について調査を行った。この結果第2630地区の植樹活動は次の表の結果を得た。

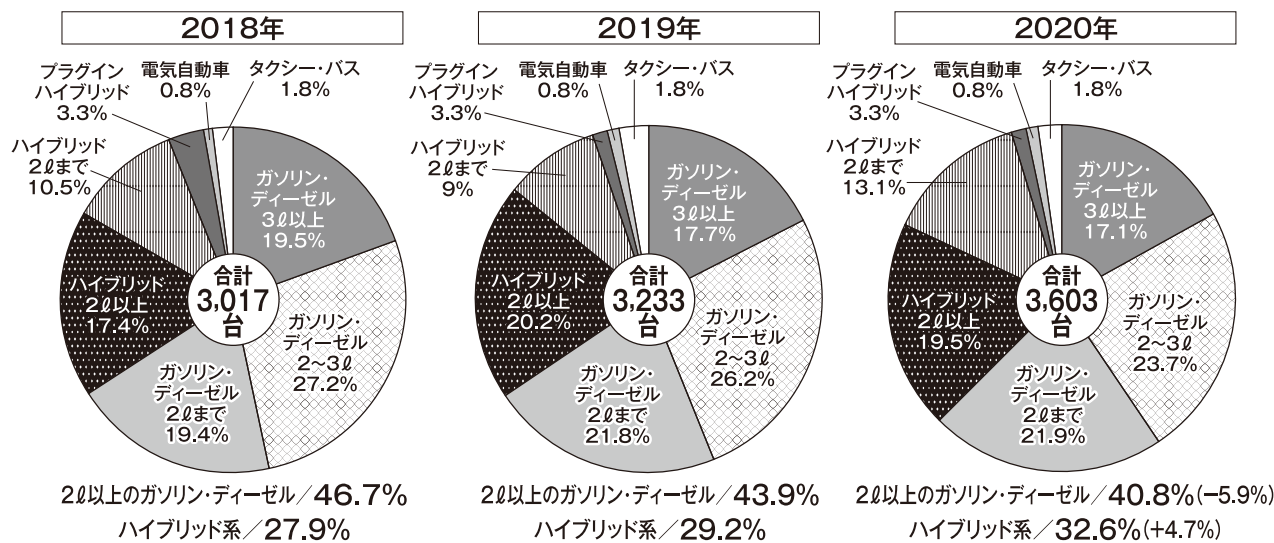
イアン・ライズリー国際ロータリー会長(2017-2018)の強いリーダーシップによって、環境保護と温暖化抑制に大きく舵を切った。従って2018年度の近くは、かつてないほどの植樹活動が広がったが、最近では2630地区では、減少の一途をたどり昨年は3年前の30%くらいと低迷中である。

この植樹DNAを絶やさないように意識しての活動が待たれるが、少子高齢化から強力なマンパワー支援が得にくくなり、さらなる活動協力の輪の拡大を期待したい。

鈴鹿ベIRCや尾鷲RCの長期的植樹活動を良い教材として、各クラブが植樹に向かう意識を高めて頂きたく期待する次第である。委員会としても関連補助金プロジェクトの提案を支援していきたい。

年 度	2018年度	2019年度	2020年度
植樹本数	1,088本	618本	324本

2 2018年4月~2020年4月の3度に亘る保有乗用車種変化 調査結果



- 2000cc以上のガソリン・ディーゼル車が減っている。これはCO2排出抑制の観点から望ましい。
- 災害時の電源として使えるプラグインハイブリッドは大きく増えていない。
- ハイブリッド車でも電気取りだしのオプションがあればいいのでこの教宣などを進めたい。

国際ロータリー 第2630地区 会員数報告

2020年4月分

グループ	クラブ	例会数	会 員 数				期首からの増減	
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜 A	岐 阜	1	80	0	77	0	6	9
	岐 阜 西	0	53	0	52	0	3	4
	岐阜長良川	1	49	0	49	0	1	1
	岐 阜 北	1	38	3	40	3	2	0
	岐 阜 中	0	28	1	30	1	3	1
	グループ計(5)		248	4	248	4	15	15
岐阜 B	岐 阜 南	1	94	9	98	12	12	8
	岐 阜 東	0	49	2	52	2	5	2
	岐阜東南	0	40	0	40	0	2	2
	岐阜加納	0	76	3	77	3	4	3
	岐阜エトス	1	19	2	22	2	3	0
	岐 阜 城	0	16	0	19	1	3	0
	グループ計(6)		294	16	308	20	29	15
岐阜 西濃	大 垣	0	88	2	87	2	1	2
	大 垣 西	0	75	0	75	0	2	2
	本 巣	0	28	0	28	0	0	0
	羽 島	1	31	4	33	4	2	0
	不 破	1	31	0	30	0	0	1
	大 垣 中	0	53	0	53	0	0	0
	大垣センチュリー	0	54	3	58	3	5	1
	岐阜淡墨	0	14	1	16	1	3	1
	岐阜サンリバー	0	17	3	18	4	1	0
	グループ計(9)		391	13	398	14	14	7
岐阜 東濃	多 治 見	0	48	3	49	3	3	2
	中 津 川	0	70	2	73	2	6	3
	瑞 浪	0	59	1	59	1	1	1
	恵 那	0	50	1	50	1	0	0
	土 岐	0	41	1	41	1	0	0
	多治見西	0	33	4	32	4	0	1
	中津川センター	0	47	1	55	1	9	1
	多治見バーサイド	0	39	1	40	1	1	0
	グループ計(8)		387	14	399	14	20	8
東海 北陸道	美 濃	0	21	0	18	0	0	3
	各 務 原	0	25	1	24	1	0	1
	関	0	50	2	50	2	0	0
	郡上八幡	0	38	0	37	0	1	2
	関 中 央	0	33	0	34	0	1	0
	郡上長良川	0	35	6	33	5	2	4
	各務原中央	1	25	2	24	2	0	1
	各務原かかみの	0	9	2	9	2	0	0
	グループ計(8)		236	13	229	12	4	11
濃 飛	高 山	0	41	0	45	0	4	0
	下 呂	0	21	0	25	0	5	1
	高 山 西	0	40	1	40	2	2	2
	美濃加茂	0	39	8	39	8	0	0
	可 児	0	31	1	35	1	5	1
	高山中央	0	56	3	55	4	2	3
	グループ計(6)		228	13	239	15	18	7
岐阜県合計(42)			1,784	73	1,821	79	100	63

グループ	クラブ	例会数	会 員 数				期首からの増減	
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑 名	桑 名	1	41	0	39	0	0	2
	桑 名 西	0	36	0	35	0	1	2
	桑名中央	0	31	1	30	1	0	1
	桑 名 北	0	31	8	30	8	0	1
	グループ計(4)		139	9	134	9	1	6
四 日 市	四 日 市	0	95	0	92	0	6	9
	四日市北	0	24	5	24	5	0	0
	四日市西	0	72	4	71	4	0	1
	四日市南	0	41	4	42	4	1	0
	四日市東	0	39	0	38	0	1	2
	グループ計(5)		271	13	267	13	8	12
鈴 鹿 亀 山	鈴 鹿	0	69	10	70	10	1	0
	鈴 鹿 西	0	39	7	38	7	0	1
	鈴鹿ベイ	0	12	0	13	0	1	0
	亀 山	0	12	0	15	0	3	0
	鈴鹿シティ	0	68	4	71	4	4	1
	グループ計(5)		200	21	207	21	9	2
中 勢 ・ 伊 賀	津	0	63	0	64	0	7	6
	上 野	0	39	2	39	2	2	2
	名 張	0	34	2	32	1	2	4
	津 南	0	49	2	49	2	2	2
	津 北	0	49	4	52	4	4	1
	上 野 東	0	40	3	38	3	1	3
	久 居	0	27	1	28	1	1	0
	名張中央	0	24	1	25	2	2	1
	グループ計(8)		325	15	327	15	21	19
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	0	77	0	78	0	3	2
	松 阪 東	0	61	10	64	10	4	1
	熊 野	0	33	5	33	5	0	0
	尾 鷲	0	14	2	13	2	0	1
	松阪山桜	1	36	3	35	3	1	2
	グループ計(5)		221	20	223	20	8	6
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	0	59	0	59	0	2	2
	鳥 羽	0	31	4	31	4	0	0
	伊 勢 南	0	45	3	46	4	2	1
	志 摩	0	49	12	50	12	3	2
	伊勢中央	0	50	0	50	0	0	0
	伊勢度会	1	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)		249	23	251	24	7	5
三重県合計(33)			1,405	101	1,409	102	54	50
地区合計(75)			3,189	174	3,230	181	154	113

■2019年4月(前年度)出席報告

	出席率	期首	月末	うち女性	増減
岐阜県合計(42)	82.03	1,757	1,804	71	47
三重県合計(33)	85.89	1,374	1,409	99	35
地区合計(75)	83.73	3,131	3,213	170	82

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

2020年4月分

受章



成重 隆志
旭日双光章



小林 充
旭日双光章



藤田 充
瑞宝双光章



川地 清広
黄綬褒章

入会会員



加藤 大輔
2020.4.7 入会
設計コンサルタント

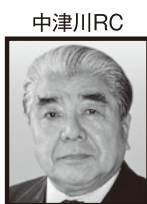


平松 暁仁
2020.4.7 入会
建築



森谷 晃一
2020.4.6 入会
食料品卸

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



加藤 幸平
1967.2.23 入会
2020.4.18 逝去
1989～90年度会長、
マルチプル
ポールハリスフェロー

伊勢RC
森 修
1993.1.12 入会
2020.4.16 逝去
準米山功労者、
マルチプル
ポールハリスフェロー



三藤 治喜
2001.7.4 入会
2020.4.29 逝去
2016-17年度会長・
米山功労者(マルチプル)、
マルチプル
ポールハリスフェロー

地区代表幹事予定者でありました三藤治喜地区幹事が、膵臓がんのためお亡くなりになりました。通夜・告別式は新型コロナウイルス感染症の影響を懸念され、5月1日・2日に近親者のみで終えられました。なお、ご本人・ご遺族の希望により、事態終息後に「お別れ会」を予定されておりますことをご報告致します。

地区代表幹事 井熊 信行

一年を振り返って

●地区代表幹事 井熊 信行

昨年の6月22日の諮問委員会で急遽2019～2020年度の地区代表幹事に指名されました。突然の指名で何の準備もなく、7月から当該年度が始まりました。そのためPG、地区役員、AG、各クラブの会長・幹事、地区幹事、事務局の皆様、特にガバナーには多大なるご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

そして、考える余裕もなく、待たなして各クラブへの公式訪問が始まりました。当初は戸惑っていましたが、次第に各クラブを訪問し、会長、幹事のお話を聞くうちに、そのクラブの特性、すばらしさに気づかされるが多く、ロータリーの奥深さを感じるようになり、ガバナーの随行として各クラブを訪問させていただくのが、楽しみとなりました。

さらに、地区大会が11月に開催されるわけですが、これについても全体像を把握しておらず、実行委員長、地区幹事、事務局の方々は、日が詰まってくるにつれて、心配をおかけしました。しかし、当日は地区のロータリアンの皆様に助けていただき、無事大会を終えることができました。ロータリーの実力に驚かされました。本当にありがとうございました。

地区大会が終わり、やれやれと思う間もなく、未曾有の新型コロナウイルスの感染が広がり、地区活動のすべてが止まってしまいました。世界にも感染は広がり、楽しみにしていたハワイの国際大会も中止が決まり残念です。そして地区の重要な会議も、PETS、地区研修・協議会、地区役員引継会等、そして周年祝賀会も開かれなくなりました。一番憂慮することは、各クラブの例会が4、5月とほとんど休会となっていることです。ロータリーの基本はクラブの例会です。例会が開催されず、ロータリアン同士のつながりが希薄になることを恐れます。例会が無くなって例会の素晴らしさを改めて感じているところです。新型コロナウイルス感染が収まったら、例会の意義を今一度見直したいと思います。

一年間、皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、曲がりなりにも一年間が過ぎることに、感謝いたします。本当にありがとうございました。

●表紙 —— 津市「かざはやの里(あじさい)」



藤堂高虎にゆかりのある津市西部・風早池のほとり、福祉と観光を融合した花園「かざはやの里」では、春(藤)・夏(あじさい)・冬(梅)に季節の花が咲き、「癒しの花景」をご覧いただけます。

●写真撮影:田邊三郎 会員(久居RC)

一年間の編集を終えて

辻正敏ガハナ一年度の「月信」を担当させて頂きました。地区内でのそれぞれに想いのこもった活動を知ることが出来ました。地区役員の皆様、各クラブの皆様、ご寄稿いただきありがとうございました。

表紙写真につきましては、久居RCの田邊三郎会員より、津市の名所を写真家の目線で撮影された写真を提供して頂きました。ありがとうございました。私にとりまして2019-20年度のロータリークラブ活動は、充実した楽しい一年でありました。

ただ最後に、30年来、公私ともにお世話になった先輩であり、私のロータリークラブ入会の推薦者である三藤治喜会員のお写真をこのような形で掲載しなければならなかったことが、残念でなりません。「終わってみれば、おもしろかったでしょ」と、笑いながら言っているようです。ご冥福をお祈り申し上げます。

●地区幹事(月信・ロータリーの友担当) 神田 浩伸

国際ロータリー第2630地区より 新型コロナウイルス「COVID-19」対応 医療現場などへフェイスシールド寄贈

ガバナー 辻 正敏

2020年5月11日(月)13時、三重県庁において辻正敏ガバナーと平井義之R財団部門委員長より鈴木英敬三重県知事にフェイスシールド2万個の贈呈を行いました。また同日、岐阜県庁において木村静之直前ガバナーと堀部哲夫補助金小委員会委員長より古田肇岐阜県知事にフェイスシールド2万個の贈呈を行いました。各県の医療関係機関に早期のうちに配布され活用されることとなります。

このフェイスシールドは、第2760地区(愛知県)の伊藤靖祐ガバナーより、医療現場で著しく不足しているフェイスシールドを地区内会員有志が製作を始めたことのご連絡を受けました。そこで、当地区でもR財団地区補助金1万ドルを活用するとともに、各クラブのロータリアンの皆様にもご寄付頂き、併せて購入資金と致しました。

この寄贈活動が、少しでも新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止と戦って頂いている医療関係の皆様を活用され、一日も早く事態収束に繋がることを祈っております。



▲贈呈させていただいたフェイスシールド



▲岐阜県での贈呈式



▲三重県での贈呈式

2019-2020年度 地区事務所・ガバナー事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒514-0033 三重県津市丸之内29-14 津商工会議所4階 TEL 059-221-2630(ガバナー事務所) TEL 059-221-2632(地区大会事務所) FAX 059-221-2631(共通) E-mail 1920@rid2630.org(ガバナー事務所) E-mail 1920taikai@rid2630.org(地区大会事務所)	執務時間 10:00~16:00 (土・日・祝日 休務)